

# ブロック塀の所有者による安全対策の促進

## — 支援 100% を目指して —

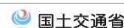
### 過去のブロック塀倒壊による主な事故

- 1978年(昭和53年) 宮城県沖地震 死者18名
- 1995年(平成8年) 阪神・淡路大震災 死者14名
- 2011年(平成23年) 東日本大震災 不明(多数につき)
- 2016年(平成28年) 熊本地震 死者1名
- 2018年(平成30年) 大阪府北部地震 死者2名※1 など

※1: 小学校のプールに設置されたブロック塀が約40mにわたり倒壊し、登校中の女兒(4年生)が下敷きとなって死亡

◇ 宮城県沖地震(昭和53年)の教訓から 建築基準法の改正(基準の強化) が行われていますが、建築時期の古いものが多く、事故が続いています。

### ブロック塀等の点検のチェックポイント



ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。  
まず外観で1~5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか
  - ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
  - ・塀の厚さは10cm以上か。(塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上)
- 3. 控え壁はあるか。(塀の高さが1.2m超の場合)
  - ・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか
  - ・コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か
  - ・塀に傾き、ひび割れはないか。
- 6. 塀に鉄筋が入っているか
  - ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、鉄筋は壁頂部および基礎の横筋に、鉄筋は縦筋にそれぞれが掛けられているか。
  - ・基礎の埋入深さは30cm以上か。(塀の高さが1.2m超の場合)

国土交通省 国土政策局 建築部 建築課

### 県における取組み方針

県内における危険なブロック塀「0(ゼロ)」を目指していきます!



そのため、【①周知の徹底】【②相談体制の整備】【③支援策の充実】を図ります。  
特に、③支援策の充実については、県内の全市町村における補助制度の創設を目標とします。

### 県の主な取組み

#### 【①周知の徹底】

チラシやリーフレット・県広報紙・県HPのほか、SNS(県公式ツイッター等)などを活用して情報発信を行っています。



県広報紙ひばり (2020年3月号 地震特集)

#### 【②相談体制の整備】

建築関係団体(茨城県建築センター・茨城県建築士事務所協会)と連携して設置した専門家相談窓口の活用を図っています。



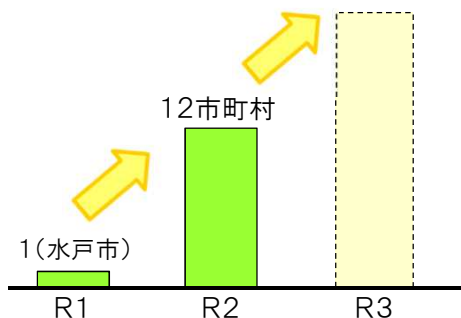
住まいの相談会(窓口)  
リフォーム一日出張相談(現地)

#### 【③支援策の充実】

R1年度に補助制度検討会を開催(県が主体となって市町村と検討)



R2年度は県内12市町村(水戸市を含む)が国の交付金(防災・安全交付金)を活用して所有者が安全対策を行う場合の支援をします。



全市町村での支援を目指します!